

Summit



平成20年度
「親と子の火山砂防見学会」を開催しました！

2008年9月18日発行

■編集・発行

北海道火山防災サミット実行委員会2008
十勝岳地方実行委員会

■事務局

NPO法人環境防災総合政策研究機構
〒060-0001
札幌市中央区北1条西8丁目2-39
日宝大通ビル8F
Tel. (011) 271-2663



青空の下、上富良野町の砂防施設に 子どもたちの歓声が響きました。



上富良野町は、大正時代に十勝岳の噴火による泥流で大きな被害を受けたまちです。1988-89年噴火以降、町と旭川土木現業所は連携してこども防災教育に取り組み、この「親と子の火山砂防見学会」を毎年開催しています。

今年は、1988-89年噴火から20年にあたるため、「北海道火山防災サミット2008 in 十勝岳」の一環として実施しました。砂防施設の見学に加えて火山実験・泥流実験を通して、活火山十勝岳の理解を深めることを目的としました。

Volcanic Disaster Reduction Summit 2008 in Tokachidake SUMMIT NEWS LETTER

プログラム

- 8:30 集合
8:40 オリエンテーション
8:50 【十勝岳について学ぼう！】
● 映像と先生のお話
9:20 【大正泥流について学ぼう！】
● 上富良野橋
● 高田道雄宅跡
● 遭難記念碑
11:30 【まちを守るしくみについて学ぼう！】
● まちを守るおじさんのお話
12:00 お昼ごはん
12:40 【火山や泥流災害について学ぼう！】
● 実験と先輩のお話
15:00 解散

上富良野
小学校

バスで
移動

2号透過型
ダム

日 時

平成20年8月21日(木)
8:30～15:00

参加人数

- 上富良野小学校
児童72名、保護者59名、教員4名
- 上富良野西小学校
児童25名、保護者19名、教員4名
- 江幌小学校
児童6名、保護者5名、教員1名
- その他 実行委員会から 40名

計235名

十勝岳について学ぼう！



火山噴火現象や大正泥流、砂防施設について、映像などを通して学びました。

そして、噴火災害から身を守るためにはどうしたらよいか、新谷先生のお話を聞きました。



大正泥流について学ぼう！

高田道雄宅跡



大正泥流の流れた跡を訪れ、昔の人たちの泥流の被害とまちを復興させていった苦労に触れました。

まちを守るしくみについて学ぼう！



富良野川の砂防ダムを見学しました。土木現業所や气象台のお話を聞いて、砂防施設や火山監視システムなど、火山噴火からまちを守るしくみについて学びました。



火山や泥流災害について学ぼう！

泥流発生装置を使った泥流実験



牛乳による火砕流実験



コーラを使った火山噴火実験



平倉さんのお話



砂防施設とゆかりの深い平倉先輩をゲストに招き、そのお話と火山や泥流の実験を通して十勝岳の理解を深めました。

Volcanic Disaster Reduction Summit 2008 in Tokachida SUMMIT NEWS LETTER



上富良野小学校の卒業生で、かつてこの「親と子の火山砂防見学会」に参加した経験を持つ、東京都在住

の書家、平倉和則さんをゲストにお招きしました。

平倉さんは、小学5年生の時に3号透過型ダムの堤銘板の題字に書かれたのをきっかけとして書家への道を歩みました。今回の見学会で平倉さんは、後輩にあたる子どもたちに「夢を追い続ける大切さ」を語り、書のパフォーマンスを披露しました。



平倉さんは「山」、子ども代表は「友」という字を書きました。

最後に、岡田先生が、噴火災害から大切な家族やまちを守るために自分たちにできることは何か、この見学会を機に考えてほしいと、子どもたちに語りかけました。

